



# 世田谷区誌研究会 会報

令和8年2月号

NO59

編集人 野岸敏雄  
天海敏彦

連絡先：[kushiken0817@yahoo.co.jp](mailto:kushiken0817@yahoo.co.jp)

ホームページ：<https://setagaya-kushiken.jimdofree.com/>

立春とは名ばかりの寒さが続きますが、皆さまにはお変わりなくお過ごしのことと拝察いたします。

一月の世田谷の風物詩といえば、やはり「ボロ市」です。今年も平日開催でありながら晴天にも恵まれ大変な賑わいを見せていました。今年のボロ市で特筆されることは名物代官餅の値段が1300円でした。並んで値段を聞いてびっくりした人もいたのでは、ちなみに昨年は1000円でした。物価高を実感する年でした。

二月には、羽根木公園の「梅まつり」が始まります。**2026年は2月8日から3月2日までの開催**予定で、園内には早咲きの紅梅がほころび始め、春を告げる香りが漂いはじめます。地域の皆さまにとって、寒さの中にも心がほぐれる季節行事として親しまれてきたものです。ぜひ足をお運びいただき、季節の移ろいを感じていただければ幸いです。

一月の講演会は、谷口栄氏をお迎えし、「江戸の水運」をテーマにご講演いただきました。江戸の物流を支えた地形、歴史のお話でした。

続く二月の講演会は下記の要領にて実施いたしますのでご参加ください。

令和8年2月19日 (木) 午後1時開場 1時15分開始

「日本外交の祖 陸奥宗光」

講師 伊藤寿氏

場所 ひだまり会館 6階

伊藤先生には令和3年より毎年ご登壇いただき当会の学びを支えていただきました。

令和3年	江戸の寺子屋と教育
令和4年	至誠の志士・吉田松陰と悲劇の大老・井伊直弼
令和5年	幕末のキーマン 西郷と慶喜
令和5年	江戸幕府崩壊と徳川御三家
令和6年	孝明天皇と幕末政治史
令和6年	江戸幕府と日露外交
令和7年	無血開城後の勝海舟
令和7年	榎本舞踊と日露領土問題

でした。伊藤先生のYouTube 「いきなカエサル」でも復習できます。

そして4月からの新年度に向け、当会では「聴く講演会」から一歩進んだ、“**声を出す講演会**”の準備を進めております。声を出して学ぶを**素読**といいます。学びを受け取るだけでなく、互いに声に出すことで会員の交流がより深まるのではないのでしょうか、皆さまお一人おひとりのご参加が欠かせません。どうか引き続き、世田谷区誌研究会の活動にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また現在、**三軒茶屋キャロットタワー3階にて「三軒茶屋大三角地帯展」を3月22日まで開催**しております。戦後の闇市を起点とする三角地帯の歴史は、近年テレビでも取り上げられ、改めて注目を集めています。かつてこの界隈に思い出をお持ちの方のコメントも募集しておりますので、ぜひ会場に足をお運びいただき、当時の空気を感じながらお声をお寄せください。入場は無料です

寒さ厳しき折ではございますが、どうぞご自愛のうえ、健やかに過ごしてください。